

産業界から学ぶ最先端の 抗体医薬研究・開発手法

平成28年 **10月12日** **水** **10:00~17:00***

*講演後の
質疑応答含む

大阪大学・最先端イノベーションセンター1階 マルチメディアホール

世話人：森 一郎 氏（神戸大学）、内田 和久 氏（神戸大学）、金 允政 氏（大阪大学）

講演1 10:00~10:30 「基調講演」

内田 和久 氏, 神戸大学・協和発酵キリン(株)

講演2 10:30~11:30 「バイオ医薬品開発について」

田中 智之 氏, 大日本住友製薬(株)

講演3 11:30~12:00 「膜蛋白を標的としたニワトリ抗体取得法」

庄屋 雄二 氏, (株)ファーマフーズ

———昼休憩———

講演4 13:00~14:00 「sdABの研究開発」

Dr. Chuan-Chu Chou, ; 元Merck, GenScript USA

講演5 14:00~15:30 「Preclinical studies for mAB medicines
- what should be checked」

Dr. Melinda Marian, GenScript技術顧問, MMBiotech Consulting; 元Merck

———休憩———

講演6 15:40~16:40 「抗体医薬開発のCMC」

上永吉 剛志 氏, 武田薬品工業(株)

近年、製薬業界における一番大きな変化は、売り上げの中心が低分子医薬品からいわゆる「バイオ医薬品」にシフトしていることです。特に抗体医薬品は、開発成功率が低分子医薬品の約3倍であり、副作用が少ない点や、これまで治療法が無かった疾患への高い有効性など、今後の医療を変革する新しい医薬品として大きな期待が寄せられています。

今回のセミナーでは、5月に開催した抗体セミナー終了後のアンケートで、次回のテーマとしてご希望が多かった内容を中心に、国内外の医薬産業界で抗体医薬品の研究・開発(スクリーニング・薬理・安全性・CMC)に携わった方々にお集まりいただき、抗体医薬品の現在と未来について講演していただきます。

◇定員：50名、◇参加費：無料、
 ◇申込方法：氏名・所属・職名・連絡先を明記の上、以下のメール宛先にお申込み下さい。
 drugdiscovery@uic.osaka-u.ac.jp（担当：金）（参加者の情報は講演者に提供されます。ご承知下さい。）
 本セミナーは、「文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム」及び
 「文部科学省創薬等支援技術基盤プラットフォーム」の協力により開催されます。

主催：大阪大学 医学系研究科附属共同研究実習センター、産学連携本部 創薬支援グループ
 共催：大阪大学 創薬推進研究拠点、未来戦略機構 第六部門（創薬基盤科学研究部門）、
 神戸大学 創薬推進研究拠点、大学院科学技術イノベーション研究科バイオ・環境講座